



# 希望のぞみを届けます



| Vol.112 2019年11月議会 |

## 田中のぞみ★市政News

### LRT構想

総額**240**億円

### 三門駅周辺だけが 不自然な路面電車仕様に

岡山駅と総社駅間のJR桃太郎線をLRT化する構想が、JR西日本社長と両市長の3者で2018年4月に突然合意され、今年度から測量などが始まっています。総額240億円で10年程度を想定しています。全長約20キロのうち三門駅周辺の約1キロのみがいわゆる路面電車化され、それ以外は鉄道区間のままです。駅が7つ増え、便数が増えること等がメリットとされていますが、運賃が2割アップし、所要時間は伸びます。重要な公共交通機関を維持するために、一定の税金が投入されることは大切です。しかし、このように過大で、不自然な線路変更まで必要なのか疑問です。

**田中** そもそもLRTとは何か。

**局長** 明確な定義はない。次世代型路面電車と言われるが、バリアフリー化された駅や車両の低床化、連携交通の整備など走行性や快適性に優れたシステムの総称。

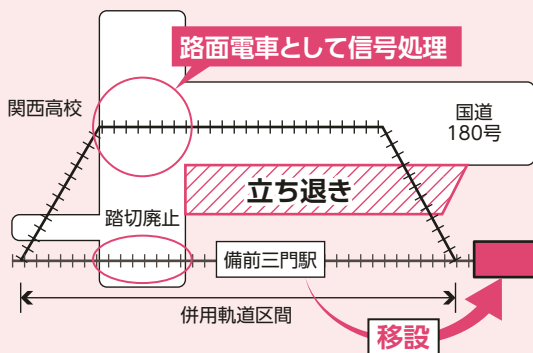
**田中** 全線が鉄道区間でも、車両の低床化や連携交通が整えばLRTと言うのか。

**局長** LRTと言う事はできるのではないかな。

**田中** では、三門駅周辺だけを路面電車化するのは、米倉津島線の渋滞を解消するためだけと考えればよいか。

**局長** 踏切を何とかしたいと検討した結果の案を示している。

#### 三門駅周辺イメージ(岡山市の案)



突然出た立ち退きの話に多くの方が不安を抱えています。渋滞の解消が目的ならば、踏切の改良を最優先に考えるべきで、多額の費用と時間をかけてまで無理な路面電車化は不要です。踏切の拡張や、踏切を解消し信号方式にする場合であれば、180号線を合流させるなど他の方法も検討したのかという問いに、「JRとの協議は困難」「これしかない。」の一点張りです。



菅原おさむ市議、森脇ひさきさんと(1/6)